≪2024 年度 見学会 報告≫

日本衛星ビジネス協会は、2025年1月16日(木)に KDDI MUSEUMにて2024年度見学会を開催しました。今回の目的は、衛星を利活用した国際通信の歴史について展示視察を通して理解を深める自己研鑽、およびリアルイベントを通した会員同士の交流の増進です。本企画にご賛同いただいた企業会員14名、学生会員2名の計16名にご参加をいただきました。

見学会の前半では、KDDI MUSEUMの見学ツアーを行いました。KDDI MUSEUMはKDDI㈱様が設置した、一般の方も見学が可能な企業博物館です。日本の国際通信の歴史から始まり、現在までのKDDI㈱様の通信事業の変遷、将来の挑戦について5つの展示エリアを回りながら見学することができます。

今回の見学会では日本の国際通信の歴史に焦点を絞り、1854年の黒船来航以降、明治期の長崎で始まった海底電信ケーブルによる国際通信、電波の発見と通信への利用、衛星通信と大容量光海底ケーブル時代への変遷を解説いただきました。ミュージアム内では当時実際に使用されていた機器が多数展示されており、解説の内容と相まって非常にボリュームのある見学ツアーとなりました。

見学会後半では、KDDI㈱ 衛星統括部 部長 垣内様にご登壇いただき講演会を実施しました。ご講演では、能登半島地震で起きた通信障害の概要、KDDI㈱様が実際に現地で行った復旧対応についてご説明をいただきました。今回の復旧対応では Starlinkや地図情報の連携技術など、様々な最新技術が活用されました。特に Starlinkは小型で設置が容易なこと、設置後の衛星捕捉時間が短くより効率的に拠点を回れることから、自治体の拠点や避難所など多くの場所に設置されたそうです。現場で復旧作業に従事された方から生の声を聞ける貴重な機会となりました。

講師 垣内様やご参加者様のご協力により、大変有意義な見学会となりました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます

講演「能登半島地震における通信障害と復旧対応」
垣内 基義 様（KDDI 株式会社 コア技術統括統括本部 技術企画本部 衛星統括部 部長）

以上